

1996年 (平成8年)

スローガン 「創ろう感動あるJAYCEE」
- 夢を語り魅力あるひとづくり -



第21代理事長 瑞木 一博

年初会員数	
80名	
新入会員数	最優秀会員賞
9名	石田啓三
卒業会員数	尾林邦生
11名	最優秀新人賞
最優秀委員会賞	安部一郎
青少年開発委員会	(敬称略)

96年度は「創ろう感動あるJAYCEE」・夢を語り魅力あるひとづくり をスローガンのもとに幕開けした(社)別府青年会議所もいよいよフィナーレとなって参りました。

思い起こすと創立21周年を迎え、新たなスタートとして、今後のJC活動を考え、今一度JC活動を見つめなおし、会員の意識の高揚を年頭に置き事業を展開して参りました。特に各地大会やまつり等への積極的な参加はもちろんですが、1月に発表された、仮称立命館アジア太平洋大学平成11年開校に対するJCの参加や、7月20日「海の日」記念イベント等、年頭の事業計画にない事業を含め、今年は365日フル活動でありました。

委員会別にみますと、地域観光開発委員会は、立命館の担当はもちろん、全てのイベントを事業として行って来ましたし、青少年開発委員会の「アジア太平洋サマースクールin種子島」に置いては昨年中に、事業計画や資料が提出気概のある素晴らしい委員会活動でした。

会員交流委員会、指導力開発委員会は、会員相互の親睦と人づくり事業を行なってきました。

又、木浦青年会議所とのワールドカップ共同開催記念、国際交流絵画書道展に対しても、今迄にない交流ができたものと思います。

各委員会とも、会員の情熱をもって取り組まれました。そして全体事業であるイベントや委員会事業にしても、対外的にかなりの評価をうけたものと確信しております。

97年度は、30周年のブロック大会、大分での地区大会、全国大会熊本と、副主管としての自覚をもって、積極的に参加して頂きたいと思えます。

最後になりましたが、この1年間ご支援いただきました諸先輩の皆様やスタッフ理事、会員の皆様の絶大なるご協力に対して厚くお礼申し上げます、

(1996年度事業報告書「一年を振り返って」より転載)

- (社) 別府青年会議所 30年の歩み -

主な活動内容

4月6日

木浦JC来別

4月7日

温泉まつり

4月27日

座・談・会

6月9日

JC家族会大運動会

7月20日

オリアナ棧橋砂地イルミネーション事業

7月26日

'96ビーチバレーボール大会

8月3日

'96サマースクール

8月23日

佐伯珍島青年会議所姉妹締結

9月21日

国際交流絵画書道展、表彰式

11月12日

べっぶ環境まつり'96

11月17日

JC旗争奪戦少年サッカー大会

11月19日

11月例会・卒業式

12月5日

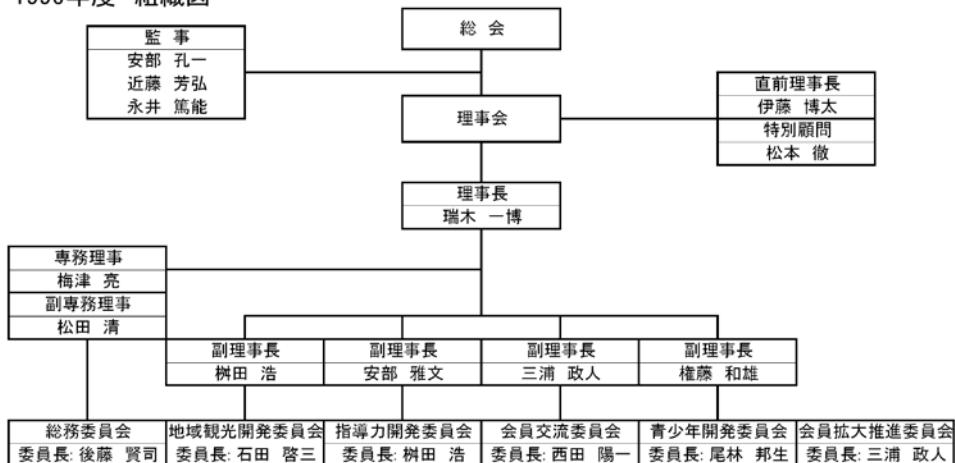
12月例会・忘年会

12月23日

べっぶクリスマスHANABIファンタジア



1996年度 組織図



1997年 (平成9年)

スローガン 「咲かせよう」 21世紀! ベっぷ RE DESIGN



第22代理事長 梅津 亮

年初会員数	
75名	
新入会員数	
5名	最優秀会員賞
卒業会員数	工藤恵美
5名	最優秀新人賞
最優秀委員会賞	該当なし
地域夢づくり委員会	(敬称略)

1990年代は「リ」の時代と言われております。「リフォーム」「リサイクル」「リストラ」等の言葉が氾濫し、再生・再構築をしなければ企業も自治体も生き残れない時代になってきました。既存のシステムや枠組みを分解し、次の時代に耐えうる仕組みを作っていかなければならない、正に避けては通れない「時」に直面しております。そのような中、我々(社)別府青年会議所も転換期を迎え、これから訪れる「変革」「改革」に恐れることなく

立ち向かっていこうという意味をスローガン「『咲かせよう』21世紀!ベっぷ RE DESIGN」

に込め、別府JCとして21世紀に向けた提言のできる団体に変革していくことを決意し、1997年度をスタート致しました。

この変革の時に、JCとして何を求められているか、どのような形で活動していくか、21世紀の社会、また青年会議所活動を視野に入れながら、これまでの事業のあり方を「まち」「ひと」のあるべき姿をはっきりとした形で捉えながら見直すことが必要でした。

「まちづくり」では、「まつり」の取り組み方を本来の青少年育成活動及び地域社会との交流に重点を置き、別府市や各種団体と意見交換を行いながら参加しました。中でも「火の海まつり」はこどもを対象とした内容を中心とすることを目指し、「秋まつり」では、初めて障害者と一緒に関わりを築くという貴重な経験からこれまでの表面的な「福祉」とは違う観点から「福祉」を捉える目を持つ事ができるようになりました。また「冬のクリスマス花火ファンタジア」では「こども達とクリスマスソングを歌う会」を昨年の600人から1000人へ拡大し、現代を生きる多くのこども達に夢とすばらしい思い出を手にしてもらうために力を注ぎました。「ひとづくり」では、こども達とのふれあいを大切にしたいサマースクールや、次世代を担うこども達に身近なところから環境問題に興味を持ってもらうため、木浦JC、中華民国連雲港青年団との合同事業として国際交流絵画展を開催いたしました。

その他、今年は日韓首脳会談別府開催を初め、姉妹JCであります大韓民国木浦JC・中華民国陽明山国際青年商会との交流等、メンバーの協力のもと今後の別府市の国際化を踏まえた上で、人と人とのネットワークを拡げる機会を数多くつくることのできたと思っております。

この一年間は「これまで」と「これから」の頭の切り替えの連続でした。どうしても「これまででは…」に縛られ自由で且つ柔軟な「挑戦」に対して躊躇しがちでした。しかしメンバーの純粋な事業への情熱のおかげで「これから」へ向けた方向付けができたのではないかと思っております。

最後になりましたが、一年間本当にありがとうございました。諸先輩の皆様やメンバーの皆様には様々な事業で多大なるご支援・ご協力を頂きました事をあらためまして感謝申し上げます。また皆様より与えて頂きました理事長としての経験を今後の(社)別府青年会議所活動にて活かし、JCマンとしてこれからもチャレンジし続けますこととお誓い申し上げます、一年間の御礼の言葉とさせていただきます。

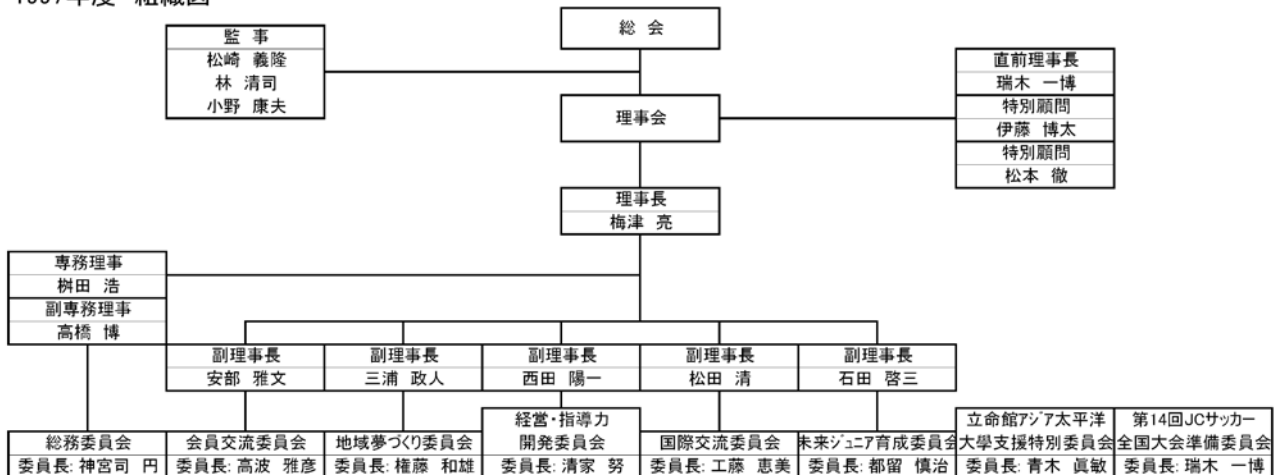
- (社) 別府青年会議所 30年の歩み -

主な活動内容

- 1月12日 神事・太鼓初打ち
- 2月13日 木浦JC来別
- 2月18日 札幌JC来別
- 2月27日 市長との昼食会
- 3月14日 別府市議会傍聴
- 4月4日 温泉祭り
- 4月4日 木浦JC来別
- 4月5日 別府JC vs. 木浦JCサッカー親善試合
- 5月14日 別府JC経営セミナー
- 5月15日 陽明山JC記念式典
- 5月18日 わんぱく相撲別府地区予選
- 5月25日 別府JC春季家族会
- 7月20日 海の日ビーチバレーボール大会
- 7月20日 木浦JC訪問団来別
- 7月25日 火の海まつり
- 8月8日 '97 サマースクール
- 8月15日 全羅南道地区JC来別
- 8月26日 全羅南道地区青年会議所婦人部環境研修会
- 9月15日 全羅南道地区青年会議所来別
- 9月26日 全国大会
- 9月30日 木浦開港100周年記念式典・国際交流絵画展
- 10月11日 別府環境まつり'97
- 10月19日 JC秋期家族会
- 10月24日 サッカー全国大会
- 10月31日 ドリームバル
- 11月16日 JC旗争奪奮戦少年サッカー大会
- 11月20日 弁論大会
- 12月23日 ベっぶクリスマスHANABIファンタジア



1997年度 組織図



1998年 (平成10年)

Ever Onward Let's Live Together

スローガン

いつも前向きに 共に生きよう！

- 起こせ！まちづくり・ひとづくりに創造の新風 -



第23代理事長 西田 陽一

年初会員数

61名

新入会員数

9名

卒業会員数

5名

最優秀委員会賞

地域観光開発委員会

最優秀会員賞

石田 啓三

最優秀新人賞

安部ゆかり

(敬称略)

1998年も終わろうとしています。月並みですが、本当に長いようで、短い一年だったと思います。メンバーの皆様はどんな一年だったでしょうか。これでもかという位に景気は悪くなる一方でした。世の中が何かに「毒」されているかのようにいろんな出来事が起こりました。私にとっては皆さんのおかげで本当に素晴らしいことをたくさん経験し学ばせていただきました。理事長冥利に尽きるということでしょう。

思い出に残る事業は数々あります。4月の陽明山JCとの20周年姉妹記念式典の成功。熊会長との城島後楽園でのバンジージャンプはまず忘れられない思い出となることでしょう。第14回全国JCサッカー選手権大会は、500名の全国からのJCメンバーを迎え、本当に別府ならではの「おもてなし」の運営に徹し、高い評価を得たと自負いたしております。正月明けの巨人軍のキャンプ地誘致。少年野球教室は吉村、後藤、緒方、山本、岸川選手を迎え子ども達に大きな夢をプレゼントできた画期的なイベントでした。11月には別府八湯ONSEN文化国際ミーティングの開催に尽力致しました。

まだまだ数え切れない事業を、我々は実行して参りました。その行動力はさすが別府JCならではの、あらためてJCメンバーとしての誇りを感じております。共に頑張ってくれたメンバーに心よりお礼を申し上げます。スローガンの「いつも前向きに共に生きよう」という綺麗な言葉だけで終わることはなく、実践、行動を続けた1年ではなかったでしょうか。

立命館アジア太平洋大学開学も後一年とわずかになりました。21世紀はもうすぐそこです。25周年を別府JCのミレニアム(千年)構想元年として様々な計画を諮問し、是非「創造するJC」を目指して欲しいと願います。最後になりますが、この1年多くの方々に本当にお世話になりました。心よりお礼を申し上げたいと思います。

(1998年度事業報告書「1年を振りかえって」より転載)

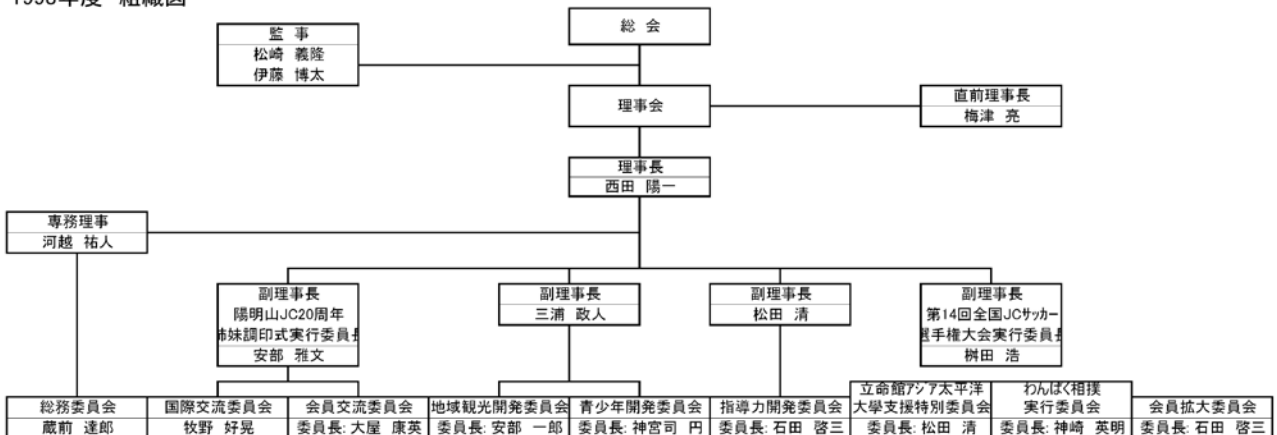
- (社) 別府青年会議所 30年の歩み -

主な活動内容

- 1月7日 読売巨人軍野球教室
- 2月26日 別府JC会員拡大オリエンテーション
- 3月15日 大韓民国木浦青年会議所創立記念式典参加
- 4月4日 温泉まつり
陽明山20周年姉妹締結調印記念式典
- 4月26日 第2回わんぱく相撲別府場所
- 5月23日 陽明山JC創立記念式典
- 6月28日 JC家族会
- 7月26日 '98ビーチバレーボール大会
- 7月23日 別府サマーフェスタ'98
- 8月7日 '98サマースクール
- 9月19日 別府探検オリエンテーション
- 9月26日 ベっぷ環境まつり'98
- 10月10日 ドリームバル
- 10月24日 第14回全国JCサッカー選手権大会
- 12月23日 JC旗争奪奮戦少年サッカー大会
- 12月23日 クリスマス花火ファンタジアドラフトカー



1998年度 組織図



1999年度 (平成11年)

スローガン 未来 (あす) に向かい動かそう 青年の力で
「ひと、まち、JAYCEE」



第24代理事長 榊田 浩

年初会員数	
61名	
新入会員数	
13名	最優秀会員賞
卒業会員数	神崎英明
5名	最優秀新人賞
最優秀委員会賞	宇都宮 太
指導力開発委員会	(敬称略)

1999年は私にとって忘れることの出来ない年になると思います。本当に長いようで短い1年間でした。景気も一向に回復する兆しすらありませんでしたし、世間では青少年の犯罪をはじめ、いろんな事件が起こった年でもありました。

私にとっては皆さんのおかげで理事長職をまっとうする事が出来、又、素晴らしいことをたくさん経験することの出来た1年間だったと思っています。

思い出に残る事業は数々あります。5月の林達夫先輩(リntax先輩)を講師としてお招きした5月例会、リntax先輩にはJCマンとしてどう活動していくかを学び取ることができました。

木浦JC・陽明山JCとの交流では、国境を越えた多くの友達が出来ました。

また、初めて留学生を交えて行われた「サマースクール」、梅園の里でのこどもたちとの楽しいキャンプは忘れることはないでしょう。

そして、「クリスマス花火ファンタジア」。初日は1000人のこども達とクリスマスソングを歌う会で、こどもたちと一緒に素晴らしい思い出を作ることができました。2日目は2002年FIFAワールドカップ、キャンプ地誘致のPR、会場の皆さんとメンバー全員で別府のキャンプ地誘致を願う画期的なイベントでした。

まだまだ数え切れない事業を我々は実行してまいりました。その行動力には「さすが別府JC」とあらためて自身と誇りを感じております。共に活動してくれたスタッフ、理事、そしてメンバーの皆様にあらためてお礼を申し上げます。

本年度のスローガン「未来(あす)に向かって動かそう 青年の力で『ひと・まち・JAYCEE』」を実践した1年だったと確信しています。

来年はいよいよ2000年、別府JCも25周年を迎えます。JCの原点に立ちかえり、様々な計画を諮問し、ぜひ「楽しいJC」を目指してもらいたいと思います。

最後になりましたが、この1年私を支えてくれた皆さんに心よりお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

(1999年度事業報告書「1年を振りかえって」より転載)

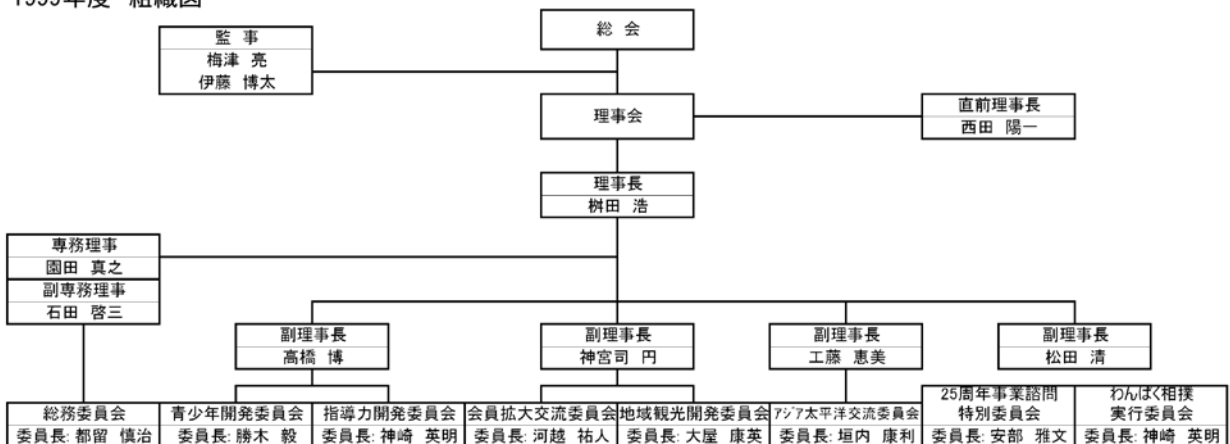
- (社) 別府青年会議所 30年の歩み -

主な活動内容

- 3月5日 新入会員オリエンテーション
- 3月18日 木浦JC訪問
- 4月4日 温泉まつり
- 5月20日 リンタツ in 別府
- 5月26日 第3回わんぱく相撲別府場所
- 6月13日 体力向上オリエンテーション
- 7月30日 '99サマースクール 梅園の里
別府サマーフェスタ'99
- 9月12日 JC家族会
- 10月16日 ドリームバル
- 11月7日 JC旗争奪奮戦少年サッカー大会
- 12月23日 べっぷクリスマス花火ファンタジア



1999年度 組織図



2000年 (平成12年)

スローガン NEW MILLENNIUM 21世紀への変革
～ひと・まち・JC～



第25代 理事長 松田 清

年初会員数	
61名	
新入会員数	
13名	最優秀会員賞
卒業会員数	神崎英明
5名	最優秀新人賞
最優秀委員会賞	宇都宮 太
指導力開発委員会	(敬称略)

本年西暦2000年は(社)別府青年会議所にとり創立25周年という記念すべき年でありました。

「NEW MILLENNIUM 21世紀への変革 ～ひと・まち・JC～」をスローガンにすえ、私は様々な不安を抱えたまま行動を始めました。

記念事業としては先ず「5周年事業バードサンクチュアリ完結式」にて環境問題・先輩方の足跡に触れ、木浦青年会議所との姉妹締結15周年の記念事業もかねた「ドリームスクール2000 in OKINAWA」では日韓のこどもたちと共にOKINAWAの地を訪れ、素晴らしい自然の中で国際交流・青少年育成・環境問題を体験し、「モーニング娘。バリアフリーコンサート」では福祉に関する問題に実際に触れ、「別府・木浦 姉妹締結15周年記念再調印式」「創立25周年記念式典」「大懇親会」では素晴らしい友情に触れることが出来ました。

どの事業ひとつをとりにしても、今でもその数々のシーンがはっきりと浮かんでくるほど私に大きな感動を与えてくれました。成し遂げた達成感はもちろんですがその過程においてのメンバーの真剣さが何よりも私にはかけがえのないものとなりました。不安は次第に喜びへと変わって参りました。

ロム事業におきましても、立命館アジア太平洋大学への留学生等いろいろな副産物を産み出した「カンボジア対人地雷展」、(社)別府青年会議所へ一石を投じた「経営セミナー」、食わず嫌いのメンバーにも食して頂いた「パソコン道場」、新しいメンバーにもデビューして頂いた中華民国陽明山国際青年商会・大韓民国木浦青年会議所の姉妹JC公式訪問、若いメンバーにも大活躍をして頂いた「わんぱく相撲 ロム大会・ブロック大会・全国大会」、地区大会・ブロック大会への各地大会・事業への参加等も含め、また現在準備をすすめております「クリスマスHANABIファンタジア」等様々な事業、欲張りすぎた感もある程盛りだくさんの内容となりました。それぞれの事業がその立ち上げ・過程・工藤・結果・検証において議論を積み重ね、その度にメンバーももちろん私自身も少しずつでも成長できたと自負いたしております。

私にとりましては全てが素晴らしい経験・得難い体験・貴重な勉強になった一年間でありました。

最後になりましたが、ご厚情を賜りました関係各位・諸先輩の皆様、そして一年間以上にわたり支援していただいた全メンバー・また家族・会社へ本当に心からのお礼を申し上げ、またこのご恩をきつとお返ししていく事を私自身の心に誓い、「1年を振りかえって」のご挨拶とさせていただきます。

一年間、ありがとうございました。

(2000年度事業報告書「1年を振りかえって」より転載)

- (社) 別府青年会議所 30年の歩み -

主な活動内容

- 1月4日 事務局開き・別府市新年互例会
- 1月9日 神事/奉納太鼓
- 1月14日 立命館アジア太平洋大学竣工式
- 1月21日 京都会議 ロムナイト
- 2月6日 厄払い神事
- 2月26日 三青年団体協議会
- 3月23日 ミス別府審査会
- 4月1日 温泉まつり
- 4月14日 九州洋上セミナー 福岡↔沖繩
- 4月26日 カンボジア報告市長訪問
- 5月14日 ブロック大会
- 5月20日 立命館APU開学・立命館創立100周年記念ブース出店
- 5月21日 バードサンクチュアリ完遂式
- 5月23日 別府・大分合同/会頭公式訪問例会
- 5月26日 中華民国陽明山国際青年商会記念式典訪問
アスパック参加
- 6月12日 わんぱく相撲別府場所
- 8月3日 ドリームスクール2000 in OKINAWA
- 8月25日 九州地区大会
- 8月26日 モーニング娘。バリアフリーコンサート
- 9月16日 サッカー九州地区大会
- 9月30日 木浦青年会議所公式訪問
- 10月22日 創立25周年記念式典
- 11月12日 APUカンボジア留学生交歓会
- 11月20日 別府・木浦姉妹青年会議所再調印式
- 12月23日 クリスマスHANABIファンタジア



2000年度 組織図

